

本事例の基礎データ

カテゴリ	ICT及び先端技術を活用した指導方法		
学校種	小学校	事例提供者	町田市立町田第五小学校
学年	3学年	教科等	総合的な学習の時間
単元名	提案します！玉川学園地区に！		
主な ICT 機器	Chromebook・iPad		
ワンポイント	<p>調査の記録を、iPadのカメラ機能で写真として残す。</p> <p>「My Map」を活用して、クラウド上の地図に自由にポイントを打ったり、コメントを入れたりするなどして、記録したデジタル情報を共有するとともに、必要な情報を自ら取捨選択してまとめる。</p>		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報活用	STEP2	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を意識して表現できる ・相手や目的に応じて安全に情報の発信・交信ができる ・情報活用を振り返り、改善点を見いだせる

本事例における教育の情報化について

【ポイント1】	<p>○iPadによるカメラ機能の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生からの継続的な指導で、カメラ機能を活用することができる。また、伝えたい内容を元に必要な写真を撮ることができる。さらに、撮った画像をGoogleドライブ上にアップロードし、全体で共有する。
【ポイント2】	<p>○Google「My Map」の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「My Map」を活用することで、地図上に様々な情報を書き込むことができる。また、ストリートビューなどとの併用により、追加調査も容易になる。さらに、クラウド上のアプリケーションの活用により、全体での共有することが可能となり、作業が容易になる。
【ポイント3】	<p>○Google「スライド」、Jamboard、「ドキュメント」、「フォーム」、「スプレッドシート」などG-suiteの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現するのに必要なツールを自ら選択し、活用する。その習得のために、3学年では様々な授業場面での活用を通して選択できるようにする。 <p>(例) 「スライド」の活用</p> <p>「自己紹介をしよう(個人)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒「係活動(友達と共有)」 ⇒「しおり作り(Google My Mapの活用)」 ⇒「仕事体験のまとめ(レイアウトを考える)」 ⇒「プレゼンテーション(自分の好きなことを伝える)」 ⇒「玉川学園に必要なお店・施設を提案(3年生の目標)」

本単元（題材）における指導の流れ

時間	● 主な学習活動 ・ 児童の活動	○ 支援・留意点 ☆ 評価
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● まちたんけん【ポイント1】 ・ 玉川学園地区を歩き特徴を見つける。 ・ 気付いたことをメモする。 ・ カメラで記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な視点で見ることができるよう予めフィールドワークの指導をする。 ○ 適宜休憩を取り、記録する時間を設ける。 ☆ 玉川学園地区の特徴に気付いている。 ☆ 特徴や課題を見つけようとしている。
4 ～ 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報を整理する【ポイント2】 ・ Google「My Map」の使い方を知る。 ・ 「My Map」上にメモする。 ・ 情報を共有する。 ・ 課題を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な情報に応じてマップを複数活用できるよう声掛けをする。 ○ 友達と気づきを共有し、新しい視点を見つけることができるようにする。 ☆ 積極的に意見交換をしようとしている。 ☆ 特徴や課題を見つけようとしている。
8 ～ 10	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を設定する。 ・ 共有した情報や整理した情報をもとに課題を見つける。 ・ 課題について調べる。 ・ 課題を全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 信頼のおける情報ソースの選択や、複数の情報を参考にすることを指導する。 ☆ 課題を設定することができる。
10 ～ 13	<ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンテーション【ポイント3】 ・ 様々なツールを活用して、必要な情報を集めたり、提案資料を作成したりする。 ・ プレゼンテーションの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なツールを選択できるよう、活用事例を例示する。 ☆ 必要な情報を集めることができる。 ☆ 聞き手に伝わりやすい資料を作ることができる。
14 ～ 17	<ul style="list-style-type: none"> ● 振り返る【ポイント3】 ・ 相互評価シートを活用してプレゼンを評価する(自己・他己評価)。 ・ 資料を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アドバイスは具体的な改善案を出すことと返事をやり取りすることを指導する。 ☆ 自分の成長や課題を見つけることができる。

本時の流れ

段階	●主な学習活動 ・ 児童の活動	○支援・留意点 ☆評価
導 入	<p>●プレゼンをする【ポイント3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のプレゼンを聞きながら相互評価シートに記入する。 ・ アドバイスを通して、本時の見直しポイントを考える。 	<p>○ルーブリック評価表を提示し、聞く児童の見る視点を明らかにする。</p> <p>☆より良くするための課題ポイントを見つけることができる。</p>
改善ポイントを見つけ、自己のプレゼンを振り返る		
展 開	<p>●資料作り【ポイント3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のポイントをもとに、自己のプレゼン資料を見直す。 ・ 友達との意見交換を通して、より良い資料を作る。 <p>●再プレゼンをする【ポイント1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達同士で見合い、改善ポイントが活かされているか確認する 	<p>○随時、友達の資料を見ても良いことを声かけする。</p> <p>○友達同士での情報交換はいつでも行い協同的な学びが実現できるようにする。</p> <p>☆評価をもとに、自分の資料を改善することができる。</p> <p>☆友達にアドバイスすることができる。</p>
ま と め	<p>●振り返り【ポイント1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の気づきや活動を振り返る。 ・ 次時の見通しをもつ。 	<p>○スプレッドシートを活用し、友達の考えが共有できるようにする。</p> <p>☆具体的に学習を振り返ることができる。</p> <p>☆次の活動の見通しをもつことができる。</p>

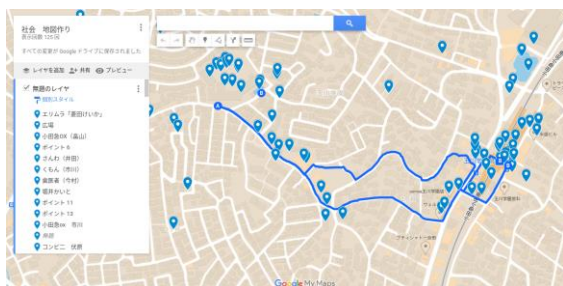
授業の実際

【ポイント1】 ● 「iPad カメラ機能の活用」



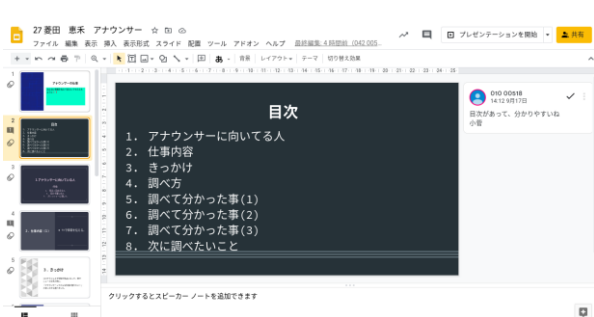
- ・ iPad の活用は 1 年生から親しんでいるため、操作に困り感を抱える児童は少ない。
- ・ 簡単な肩がけバッグを使用することで、持ち運びも容易になった。
- ・ 画像のアップロード方法を 1 年生に教えるなど、目的意識を明確にもってスキル習得に取り組んだため、困り感なく活用することができた。

【ポイント2】 ● 「Google My Map の活用」



- ・ 今までは縮小した地図に書き込んだり、付箋を利用したりしていたが、My Map を活用することで修正・加筆が容易になった。
- ・ 用紙の幅など気にせずメモを残せたことで、気付きの分量や視点が増えた。
- ・ ストリートビューとの併用も追体験に効果的だった。

【ポイント3】 ● 「G-suite の活用」



- ・ 様々な場面で活用してきたことで、それぞれのツールを活用したものを「スライド」にまとめる児童が多く、プレゼンテーションに必要なツールを自ら選択することができた。
- ・ 友達同士で同時並行で見合ったり、コメントでアドバイスをし合ったりすることで、習熟度に関係なく児童は提案資料を作成できた。

今後に向けて

- 教師が想像した以上に、児童のスキルの習得は早かった。しかし、参照した参考ページの漢字が読めなかったり、用語が難しく、内容を深く理解できなかったりしたことがあり、調査活動に時間がかかった。今後は、基本的な用語の習得や、分からない言葉を調べる方法を教えることを取り入れるよう検討していく。
- 低学年から計画的に情報活用能力の育成を図っていくことで、より思考の活動に時間がとれるようになると考えられる。3 学年の学習で必要な技能を明らかにし、それをどのように習得していくか、より具体的な学習計画を作っていく。